

羊たちのつぶやき

会告 新体制スタート!

7月例会総会は7月25日(金)19時アルカスSASEBOで開催されました。

7月例会総会では、池本総務親睦委員会委員長、原田福祉とグルメの委員会委員長、山田佐世保ユニカル委員会委員長による、熱のこもった年間活動報告があり、一新に士気が上がりました。

新事務局員の森沢秀司さんの自己紹介も今後に期待できる素晴らしい挨拶でした。

総会では出席確認後、山領議長の下25年度決算ならびに26年度予算が承認されました。

また、本田会員よりNHKの番組紹介や、DVDを使ったプレストの提案がなされ承認されました。続いて手締め説明、牟田会長より報奨金の説明がありました。加えて村山会員より事務所移転の提案があり、



いづれも多才な論客達。司会が上手く話題をを広げられるか一抹の不安が残りますが、議論を通じて佐世保を再認識できるならこの例会は成功したと言えます。

山領副会長'S VOICE



「死ぬこと以外は、かすり傷」という一文を目にしました。

最近ある人の言葉で「死ぬこと以外は、かすり傷」という一文を目にしました。日々の生活の中では、様々なことが降りかかってくる。自分の都合や思いとは関係なく、雨も降れば、晴天にもなるわけで、いちいち気に病んでいても、心の毒。何事も、死ぬこと以外はかすり傷と思えば、楽になりますよね。さらに一歩進めて、巡りあう

全ての出来事が、(それが、たとえ一見悲観的な事だとしても) 神様が指し示してくれた自分にとってのベストな答えだ、と思うようにすればいいんですよね。「自分に起きる全ての事は、自分にとってベストな出来事だ!」と、自らに言い聞かせる今日この頃です。

委員会報告

◆総務親睦委員会

日時 8月4日
場所 水月

委員会メンバー9名と牟田会長の参加も頂き開催しました。池本委員長の挨拶のあと、江頭副委員長の司会で、8月例会の打合せ、役割担当決め、及び会報誌の原稿担当決めなどの話し合いをしました。続いて当委員会の検討項目として、委員長より示されている「シーブ活動指針再考」「事務局規約の見直し」「新入会員研修マニュアル」についての雛形作成者の指名などを行われ盛会のうちに終了しました。(山領進)



◆佐世保ユニカル委員会

日時 8月4日
場所 長崎新聞社会議室

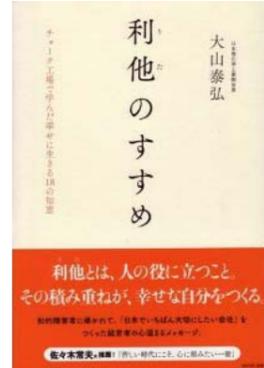
9月の担当例会について話し合いました。議題は「明日の佐世保を考える」と決定。シーブメンバーから三名のパネラーを選出し佐世保

こだわりの一冊・一曲

「利他のすすめ」 大山泰弘著 (WAVE出版)

原田良太

この本との出会いは、三年前出張先で大山さんの講演を聞いたのがきっかけでした。講演に感動し、すぐにこの本を買って求めました。その頃の私は「人はなぜ働くのか」という問題に関心があり自分なりに考えてきましたが、その答えの一端がこの本の中に示されているような気がしました。著者は日本理化学工業というチョーク作りで有名な会社の会長です。知人からの依頼で二人の知的障害者の実習を受け入れることにしました。最初は障害者を雇うことにためらいもありましたが職場の協力を得て社員として採用。著者は彼女達のまじめな勤務態度をいぶかしく思います。どうして障害者施設にいたら楽できるのに、あえて工場でのチョーク作りに汗を流すのか。ある日、禅寺の住職にその疑問をぶつけてみました。住職はこう答えたそうです。「人間の究極の幸せは四つあります。それは人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人から必要とされることです。そして、愛されること以外の三つの幸せは働くことによって得られるのです。」この言葉に私も励まされ、「働くこと」に幸せを感じられるような支援をしていこうと思いました。私にとって「働く意味」を教えてくれた一冊です。



◆福祉とグルメの委員会

日時 8月8日
場所 喜多八

第2回目となる委員会は9名の参加者によって開催しました。今年度開催する委員会の概要について11月分まで概略の確認と、大まかな調整ができました。

まずは9月!介護技術の基礎知識についての委員会をオープン形式で開催します。ご家族の参加もOKと



牟田会長 新聞に掲載される!

7月19日付の長崎新聞で牟田会長の記事が掲載されました。シーブクラブに入会した経緯や会のおもしろさなどを語っています。事務局に貼っていますので、ご一読を。(繁)



佐世保市やその近郊の経営者をつくる異業種交流会(経済同志会シーブクラブ)の会長に今月就任、例会や三つの委員会をそれぞれ月1回開き、スピーチやライブ!講演会などの活動をしており、「会員同士の絆をさらに強めながら、会合の充実を図りたい」と意気込む。

現在、20、70代の53人が所属。会員同士の交流だけでなく、切磋琢磨させたい。

経済同志会シーブクラブ 会長に就任した 牟田 陽三さん

異業種交流話題は新鮮

経営者として資質向上を」と魅力を語る。植木リースやガーデンングを手掛ける生香園(同市黒髪町)の社長。

1985年に知人に誘われ初めて例会をのぞくと、熱くスピーチをする。60歳。(宮本宗幸)

会員の姿に「感動を覚えた。すぐに入会し、それ以来、ほぼ休まずに参加している。さまざまな業種が集う同クラブは「人間図書館のよう」。豊富な人材がそろい、各委員の話題はどれも新鮮。日々の生活や仕事に生かすことができたい。

最優秀例会出席者に片桐一徳君

年間を通じて例会に最も出席した会員に贈られる。総会の懇親会の席で発表された。周囲も本人も同様に驚いていた。なにはともあれ、おめでとうございます。これからも期待しています。



編集後記

いろいろあった佐世保の夏も盛りを過ぎようとしています。仕事の上でシーブの人脈のありがたさに感謝した場面がありました。情報は適切なボタンを押せば確実に得られることを実感しました。詳細を書けずに申し訳ありませんが、理屈抜きにつきあえる場を与えてくれたシーブクラブをますます好きになりました。(繁)

直近2か月の出席状況

| | 7月 | 8月 | 本年度出席率 |
|---------|----|----|--------|
| 総務委員会 | 13 | 10 | 71.9% |
| 佐ユニカル委 | 11 | 10 | 61.8% |
| 福祉とグルメ委 | 14 | 8 | 64.7% |
| 例会 | 35 | | 72% |